

KTC 12.7sq. インパクトレンチ (コンポジットタイプ) JAP460 取扱説明書

このたびは、**KTC** エアツールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

当製品は、**KTC**ブランドがつくり出した品質の高いエアツールです。より安全に、より長くお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、注意事項や使用方法などをご理解の上、正しくお使い下さい。

また、お読みになった後もこの取扱説明書は、大切に保管して下さい。

●特徴

- ・ハイパワーでありながらコンパクト形状で、低排出・低騒音化の実現による優れた製品バランス。
- ・オリジナル設計のツインハンマーによる高出力と安定したパワー。
- ・リバースバイアスマーターの採用により、作業効率を高める左回転のパワーを強化。
- ・厳選された部品と高精度加工による耐久性の向上。
- ・360度回転シーベルインレットの採用により、ホースの取り回しが良い。
- ・ワンタッチ切替ボタンの採用により、回転方向の切替が片手操作で行える。
- ・レギュレーターは右回転が4段階、左回転は無段階方式を採用。 (図1)

<図1>




右回転・左回転用
レギュレーターと
回転方向切替ボタン

●諸元

No.JAP460	
ドライブ角	12.7sq. (1/2" sq.)
先端工具止め方式	リング止め式 (ピン止め穴有り)
能力ボルト径	M22
トルク (左回転)	最大トルク 940N・m*
トルク (右回転)	最大トルク 810N・m*
無負荷回転数	最小 7,400rpm
適正使用空気圧	動圧 0.62MPa (6.32kgf/cm ²)
無負荷空気消費量	0.68m ³ /min
エアインレット	NPT1/4" (シーベルタイプ)
推奨エアホース内径	11mm以上
重量	1.93kg

※数値はKTCで定める基準で測定した時のものです。実作業において上記の数値を保障するものではありません。

●使用方法

- ①使用目的に適合した先端工具 (ソケット等) をドライブ角に正しく取り付けて下さい。
 - * ソケットはインパクトレンチ用を使用して下さい。
- ②適正なエア圧に接続して使用して下さい (エアホースカプラを取り付ける)。
 - * エア動圧は0.6~0.7MPa (6~7kgf/cm²) で使用して下さい。0.62MPa (6.32kgf/cm²) が最適条件。
- ③回転方向を確認、右回転の際はパワーランクをレギュレーターレバーで調整して下さい。
 - * 〇印が大きくなるほど流量が増え、パワーが大きくなります。適正な位置で止めて使用して下さい。
 - * 回転方向の切替ボタンを確認のうえご使用下さい。
 - * 左回転時は  レギュレーター機能は働きません。
- ④ボルトナットに先端工具 (ソケット等) を確実にセットして下さい。
- ⑤トリガーを離すとエア圧が遮断され、回転が停止します。
 - * 目的の作業が終われば、素早くトリガーを離して下さい。



警告

取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

取扱を誤った場合に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

製品に関する安全性 — 工具を使用する際の注意事項

- すべての基準および規則（地域、都道府県、国等）に従い、本製品の取り付け、操作、点検、メンテナンスを行ってください。
- 必ずきれいな乾燥空気を用い、インレットの空気圧は適正使用空気圧 0.62Mpa で使用してください（より高い圧力が指定されている工具の場合は除きます）。工具に記載されている適正使用空気圧を超えると、速度過剰や破裂、出力トルクや出力が不正確になるなど、危険な状況をもたらすおそれがあります。
- エアーホースや取付け部品は必ず正しいサイズのものを使用し、しっかりと装着されていることを確認してください。
- エアー供給ラインには、外から操作可能な緊急遮断弁を必ず取り付け、遮断弁の場所を全員に周知させてください。
- エアーホースや取付け部品に破損や摩損あるいは劣化が見られる場合は使用しないでください。
- 万一エアアースが跳ねた場合には、エアアースに近寄らないでください。エアアースを閉じてから、エアアースに触れてください。
- 本工具に付属品を脱着したり調節を行う場合や、本工具や付属品のメンテナンスを行う際には、必ずエアアの供給を止めて空圧を抜き、エアアースを外してから行ってください。
- 工具の潤滑に、灯油やディーゼル油、ジェット燃料などの可燃性や揮発性液体を使用しないでください。推奨されている潤滑剤のみを使用してください。
- 各部を清掃する際にはパーツクリーナー等の部品洗浄剤を使用してください。使用する際には洗浄剤に記載されている注意事項を守って使用してください。洗浄は換気の良い場所で行ってください。
- 作業場所は清潔で整頓された状態に保ち、適切な換気と照明を確保してください。
- ラベルを剥さないでください。破損したラベルは新しいものに交換してください。



注意

製品に関する安全性 — 工具の使用時

- 本工具を操作する際やメンテナンスを行う際には、常に保護眼鏡等の保護具を着用してください。
- 本工具を操作する際には、常に耳栓等の保護具を着用してください。
- 使用する工具や作業を行う材料に適切な人的保護具を常に使用してください。これには、防塵マスク等の呼吸保護具、安全眼鏡、耳栓、手袋、エプロン、安全靴、ヘルメット等の装具が含まれます。
- 手袋を着用するときは、トリガー機構のリリースが手袋で妨げられないことを必ず確認してください。
- 空圧動工具の使用により生じた有害な粉塵や微粒子を吸い込んだり接触しないよう適切な対策を取ってください。
空圧動サンダー、鋸、グラインダ、ドリル、その他の工事により生じた粉塵には化学物質が含まれており、発癌、先天的欠損症、その他の生殖異常の原因となることが報告されている物質が含まれている場合があります。このような化学物質の例を以下に挙げます。
 - 鉛ベースの塗料に含まれる鉛
 - レンガやセメント等の石工材に含まれる結晶シリカ
 - 化学処理された材木に含まれる砒素およびクロムこのような物質との接触に起因するリスクは、この種の作業に従事する頻度によって異なります。これらの化学物質への接触を少なくするため、換気の良い場所で作業を行ってください。また、微粒子を吸い込まないよう特殊設計が施された防塵マスク等の認可されている安全装具を着用して作業を行ってください。
- 作業を行う際は、他の人が影響を受けない程度に十分に離れた場所で行うか、または全員が適切な人的保護具を着用してください。
- 本工具は、噴霧や粉塵、あるいはほぼ可燃性の材料に起因する爆発の危険のある環境で使用するように設計されていません。
- 本工具は、感電に対する絶縁はなされていません。
- 作業環境の潜在的な危険や隠れた危険、その他の危険に注意してください。電気線、爆発の危険のあるガスや有害な液体が中に入っているコードや導管、パイプ、ホースに触れないよう注意してください。また、これらを破損しないよう注意してください。
- 工具の先端に手や衣服、長い髪、アクセサリーを近づけないでください。
- 空圧動工具は使用中に振動する可能性があります。工具の振動や反復運動は手や腕に悪影響を与えることがあり、無理な位置で工具を構えた場合にも影響が生じることがあります。不快感やしびれ、痛みが生じた場合には工具の使用を中止してください。作業を再開する前に、医師の診察を受けてください。

- ・ 工具を使用する際は、バランスの取れた正しい姿勢で使用してください。本工具を操作中に無理に身体を伸ばさないでください。本工具の起動時および操作中には動作や反応トルク、出力の急変を常に予測し、十分な注意を払ってください。
- ・ 工具や付属品はトリガーをリリースした後も短時間動作し続けることがあります。
- ・ 作業物が固定されていることを確認してください。可能な場合は必ず、クランプや万力で作業物を固定してください。
- ・ エアホース部分を持って工具を持ち運んだり、引きずらないでください。
- ・ 疲労感を覚えたときや、服用した医薬品の影響下にあるとき、飲酒後は空圧動工具を使用しないでください。
- ・ 破損や故障した工具や付属品は絶対に使用しないでください。
- ・ 本工具および安全装置、付属品を改造しないでください。
- ・ 推奨されている使用目的以外に本工具を使用しないでください。
- ・ トリガーを操作するときに回転方向がわかるように、工具を動作させる前に切替ボタンの方向を確認してください。
- ・ インパクトソケットおよび付属品のみ使用してください。ハンド（クロム）ソケットや付属品は使用しないでください。
- ・ ハンド（クロム）ソケットを使用しますとアンビルからソケットを外しにくくなる場合があります。
- ・ 定期的に工具の駆動側を点検し、ソケットリテーナが正しく機能しており、回転中にソケットが外れてしまうほど過度の摩滅がソケットや駆動端にないことを確認してください。
- ・ インパクトレンチはトルクレンチではありません。接続部に特定のトルクが条件付けられている場合には、インパクトレンチで取り付け後に必ずトルクレンチで確認してください。

●エアについて

- ・ エアツールの性能を十分に発揮させるには、常に清浄で乾燥した規定圧の圧縮空気が必要です。
- ・ 配管には3点セット（フィルター・レギュレーター・オイル）を使用して下さい。
- ・ コンプレッサや配管は定期的に点検清掃し、ドレインや水分を除去して下さい。
- ・ 使用機器全体の必要エア量に応じたコンプレッサ、配管、ホースにして下さい。
- ・ ホースは老化していないものを使用して下さい。
- ・ ホースや配管などは長くなりますと、かなりの空気圧損失があります。
- ・ 付属のエアカプラーをご使用下さい。他のものをお使いになりますと、エア漏れ、トルク低下の原因となります。

トラブルシューティング

動かない場合

- エアツールのスイッチは正常ですか。
- エアホースに接続されていますか。
- エアは来ていますか。
- エアコンプレッサは正常に稼働していますか。

本来のパワーが得られない場合

- エア圧は適正範囲内ですか。
- エアホースの内径は適正ですか。
- エア消費量（他のエア機器との消費量合計）に対し、エアコンプレッサの能力は十分ですか。
- レギュレーターは適正に調整されていますか。

以上をご確認されても正常にならない場合は、
お買い上げの販売店または次ページのお問い合わせ先にご相談下さい。

本製品のお問い合わせ先

KTC 京都機械工具株式会社

〒613-0034

京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

お客様窓口（ものづくり／お客様センター）TEL：0774-46-4159

FAX：0774-46-4359

※お電話での受付時間は午前9:00～12:00、午後1:00～5:00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

KTCコーポレートサイト <http://ktc.co.jp/>

製品情報 <http://ktc.jp/>

支店	TEL	東京 03 (3752) 2261	名古屋 052 (882) 6671	近畿 0774 (46) 3711
営業所	TEL	札幌 011 (824) 0765	仙台 022 (231) 6322	金沢 076 (291) 4546
		広島 082 (273) 0202	四国 087 (869) 4474	福岡 092 (441) 5637

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります（日本国内専用）。

MADE IN CHINA

No. T58033-0.07.06.KTC